

刊夕 日九廿月十



迷ひから悟りまで

(弘法大師の
十住心論)

真繼雲山

各宗には『教相判釋』といつてそれぞれの宗旨の立場が明かされてある。天臺宗では五時八教、一心十界、念三千といつて有情の心想を地獄から佛界まで十の階段に眺めてある。真言の弘法大師は、十住心論を撰して同じく私たち衆生の心の無信の方を十に分類せられた。

学校にすら幼稚園から大學まである有情の位は先づ佛とも知らず羊のやうに食慾と性慾とだけあつてウロ／＼する位。

第二は他人の難儀を多少でも救ひたいと思ふ位、これが人間の一年生である。第三は不安な下界の生死が恐ろしくなつて、天に昇らうとする心もち。

第四は悟り初めてみるとこの五尺の肉身は五蘊の假りに和合したるものに過ぎぬので、別に常一主宰の我れといふもの無しとして無いを悟る位。

第五は我れといふものが無いばかりでなく法といふ

ものも亦た無しと知る位。謂はゆる人法皆空である。

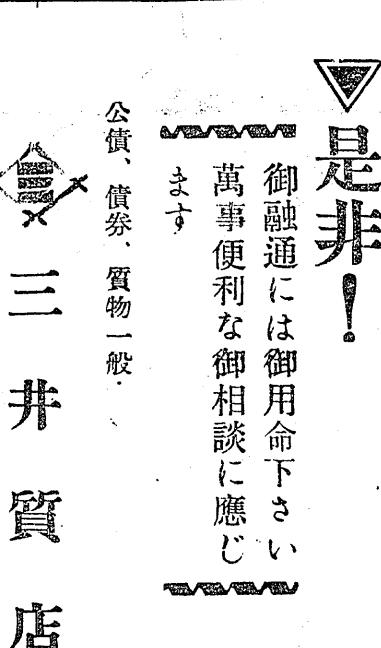
第六はさういふことを自分で悟つてみても始まらぬから、他人をも悟らせたいと思ふ位、この邊が正覺の入口である。

第七は煩惱はあるが、心は本來、生滅のないものだとして永遠の不生不滅を知る位。

【朝】清汁——とろ、こんぶ
小舟 五月豆
【晩】味噌煮鯖おろし生姜
付合 (白菜せん切り)
ハム ラダ
野菜椀 うすくすひ
き

井坂 医院

平町 田町
電話五五九番



石炭
コーキス
豆炭
阿部石炭店

平驛前
電話三十七番

おでん 吞兵衛
空澄み人肥えるの秋！
開店お知らせ

何卒可愛がつて下さい。
平田町 錦水跡(末廣通)

松茸料理始めました
松茸どびんむし

はもなべ	三十銭
鳥なべ	三十五銭
豚なべ	三十五銭
牛なべ	三十五銭
よせなべ	三十五銭
三十九銭	三十九銭
三十九銭	三十九銭

平二屋敷寮裏通り
魚清食堂

鬼居六三三

イヤ

「君い、服を
求めたね……」

レイの

「ソレ正札堂さ」

「君い、服を
求めたね……」



東京で一番の
平停車場通 電四三六番

ライオン印を
お召し下さい

セビロ高仕立
17.50ヨリ
25.00
男女通學服賣出中
三級組
實用向
セビロ高仕立
10.00ヨリ
15.00

外内
科一科
金成
醫院

正札堂洋服店
平停車場通 電四三六番

金成
醫院

忠義
平塚田町(電三五八)

味覺の秋！

鮮魚仕出し
丸仙

電六六二番

鰹節・鹽辛

當店のモットーです

美徳：体裁優美は

然らば私たちは如何に修業すれば、何の日に、果して秘密莊嚴の佛界に到り得

非常時日本の縮刷繪卷

壯烈な軍國風景

輝く聯隊旗を先頭に

歩武堂々一個大隊市内行進

平町を彩る

第二師團機動演習
參加の若松二十九

聯隊部隊は平町民
の期待裡に秋色鮮やかな本
廿九日午前十一時五十分臨
時特別列車で平驛着、町内
各團體並に一般町民外附近
町村民の堵列、歡呼裡に喇叭
が驛前より沿道兩側に堵列
する奉迎の中を進んで役場

前、搔撻小路、本町通りの
大行進を行ひ同十二時役場
構内假奉安殿に安置した、
一方將士六百餘名は本町通

りにひと先づ休憩、午後一
時より左記の如く所定の演
習に移つて壯烈な戰闘を開
始、平町は此の日全く軍國
日本の超非常時一色に塗り
つぶされ參觀の萬餘の觀衆
を昂奮せしめた

物凄い化學戰展開

南北兩軍對峙して――

新川畔に壯烈な白兵戰

一三三會展を見る

千葉右近

間週防豫核結
座談會を開催
略痰無料検査も行ふ
平町の各種催し

平署は來月一
日から一週間
の結核豫防週間に際し同病
の撲滅を期し講習會、座談
會を開催する外街頭にポス
タードを掲示これが趣旨の徹
底を圖るが平細菌検査所も
週間中略痰の無料検査を行
てゐる

四倉油タンク 四倉
漁業組合は築港突堤内に工
費七千圓で百トン入二基の
重油タンクを設置すること
荷車曳いて子供をつれて行
く教師達の姿は當時の珍風
景であつたに相違ない。純
一無難素朴なる教育が萬古
不朽の新教育であると思ふ

一つの學校内で、兎に角市
井に進出して展覽會を毎年
繰り返すことなどは珍らし
い一つで學校特色ではなか
らうか。九月二十三日に誕
生したので二三會と稱して
あるが、毎年石城の秋を飾
る皮切りである。のも面白
い。ついでに作名から受け
た感じを簡単に記しておけ

れば、それは到底眞に徹

別頃一平驛着と全時に本町
通りに一時休憩した若松二
十九聯隊部隊は午後一時か
ら果敢な市街戦を展開特別
編成になる化學部隊も出動
して近代化學戰の恐るべき
威力を發揮して見るもの、
心膽を寒からしめ漸次同新
川以南に移動して平町市内
中等校並に青年校生徒から
なる混成一個大隊と物凄い
火力戦を展開

一方磐中、平商、平青校生
徒からなる混成一個大隊は
午後二時演習終了した南北
勇壯市内行進

跡に北面縱隊、橫隊に集合
午後一時配備完了、新川以
南に戰闘開始と同時に全力
を發揚して火力急襲を行ひ
敵の攻撃を萎靡せしめ、戰
機熟ると共に同町古川附
近で壯烈な白兵戰を展開、
銃聲山野にこだまして血な
まざき戰場を展開した

演習終了後

「子供に描かせる前に教師
自らが先づ描いてみるこれ
が吾々のモットーで圖書
部一ヶ年の方針です」と。
どうして之を最もよく表現
させやうか、如何にして之
を鑑賞させやうかと、どれ
程考へても教師自らに血の
いちみ出るやうな経験がな
ければ、それは到底眞に徹

した指導が出来るものでは
ない。特に技能科に於ては
然りであるが、獨り技能科
のみならず、算術でも國語
でも、理科でも同じではない
からうか。巧みに描けずとも
も、子供と共に學び、子供
と共に生きやうとするその
試みと熱意、尊い教育行
の聖なる姿ではなからうか。
学校賞を得たが、町の中を

秋刀魚の大群押寄

茶菓接待

更に鰯も大漁又大漁

になり工事中であるが來月
中旬完成する

シネマ・週報

二十九日替

ふ由

四倉町に向つた

演習將士に

到着

員満天下待望の超豪華

版「永久の愛」前後篇

右太衛門、若水絹子主演

「蛇の目定九郎」新興サウ

ンド大谷日出夫主演

「快傑黒頭巾」其他

料金三〇セント

△平館 千恵藏プロ映畫

片岡千恵藏二役オールト

ーキー「赤西蠟太」日活

映畫 オールトーキー

中野かほる 中田弘二主

既報石城に於ける圍棋界を

代表する棋仙會は十一月一

日午前九時から湯本町山形

屋に開かれるが出席者は左

の如く決定した

△三段佐藤庄太郎△初段

濱崎善三郎△級山崎徳

次郎△二級佐々木芳一

宮下秀貢△三級赤羽清△

四級安島重三郎 赤津修

一 小林美定 森文雄

小林藤次 鈴木康平△五

級会田政次郎 佐川芳松

△六級白土賢雄△八級池

部虎雄 濑尾善之進△九

級岡田弘成

△北白町一〇九小谷野衛政

氏三女ねい子さん

△銀治町八耶摩郡月輪村大

字山湯字上戸分四九五ノ

二小野武雄氏四女登代子

△番匠町一大平政次郎氏長

女幸子さん

△道匠小路二三坪山フサさ

ん(七三)

吉田眼科学院

平紺屋町 電話 六八番

醫學士吉田久雄

正心の道におちた弟に

實兄が泣く血の涙

掛金横領の鈴木遂に不起訴

元本縣警部補の轉落

喜多流白土會

陣容一新

斯界の名士揃ふ

平町に於ける喜多流白土會

の會員は此程同會の隆盛を

圖る爲め平白土會を組織

去る二十七日第一回總會を開き會則制定、役員の選舉

其他種々協議したが顧問は

白土喜伯氏を始め東京喜多

流宗家栗谷益二郎、後藤得

三、上野八郎、須田徹二郎

の諸氏で一般會員から基本

金を募集充實を期す筈であ

る役員は左の如し。

(會長)藤田榮助(理事長)

三井三郎(理事)室橋光

金子重次(筆輪爲吉)

崎松三(菊地寅次郎)

浦美男(藤田ミエ子)

野ヒサ(谷口フク子)

人間の運命を掌握する

精神文化出席

精神文化講習會

は来る十一月四日から一ヶ月

が厳しく發育時にいちめら

第一各種体育 既報

は来る十一月四日から一ヶ月

が各方面の栽培家の意見を総

合するに今年は非常に暑さ

度が盛況を豫想されてゐるが

各方面の栽培家の意見を総

合するに今年は非常に暑さ

